

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年3月31日(金) 13時30分～14時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口主任安全審査官※、谷主任安全
審査官、鈴木安全審査専門職※、西来主任技術研究調査官、
馬場係員

北海道電力株式会社：松村執行役員 他6名

三菱重工業（株） 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<提出資料なし>>

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁タニです。面談を始めます。
0:00:06	今日の面談の内容としては、第 1128 回の会合、3 月 24 日に実施しました機基準津波に関する、
0:00:18	会合のラップアップということで、
0:00:21	面談を始めます。
0:00:25	この会合ではもう審議結果っていうのは出ていまして、
0:00:33	その会合の中では、審議結果については両省でお互いで共通認識持ったと思うんですけど、その後改めて、
0:00:43	何かこの趣旨がもう少し確認したいこととか、そういったことがありましたら北海道電力から確認していただけたらと思いますけど。
0:00:52	どうぞ。
0:01:10	1 個ずつ確認していきますかそれとも、
0:01:16	北海道電力奥寺です。
0:01:18	今、
0:01:20	大きい話としては、ラップは、
0:01:23	ラップアップじゃなくて審議結果の、
0:01:27	まずは、
0:01:28	001 の図上昇側だと思っているんですけども、
0:01:34	その水位上昇側の一つ名の、
0:01:38	陸上地すべり買わしらの第一波を対象としたこれまでの、
0:01:44	分析評価結果を踏まえ、
0:01:46	地震に伴う津波のうち組み合わせ時間範囲において第 1 または第 2 はピークが生じる波源を特定して示すこと。
0:01:56	多くのところで
0:01:59	文字は理解したつもりではあるんですけども、
0:02:04	ちょっともしかして高齢、言外といいますか言葉外でゴソツ等、
0:02:10	そういったところが、
0:02:12	あるのかどうかっていうところを、そのあたりをお伺いしたいと、そう思っておるところです。まずは一つ目のポチのところです。はい。
0:02:23	うちの方からですねタニです。
0:02:26	だからこれピークが生じる。
0:02:30	波源組み合わせ時間内でピークが重なるような波源はどれになるんですかっていうのをですね、今 20% をベースに、20% をさらにケース分けして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:41	ものをベースに話されてて、それが寄ってきたら重なるんだよとか、そういった話されてると思うんですけど。
0:02:50	多分ですねそういった話の中で、材料は一部はもうそろいつつあるのかなと思うんですけど、結局のところ、
0:03:00	断層と間でいうとどういうパターンが重なるのか。
0:03:05	ていうのが何かははっきりしないですね、資料見てても。で、だからこここういうパターンのときに、こういう断層パターンの時に、
0:03:13	或いはアスペリティがこういう位置の時にピークは重なるんですよっていうのをまず示していただいた上で、その中で、影響が大きなのはどれなんですっていう
0:03:25	説明の順番をしっかりと
0:03:29	わかりやすいようにっていうのもあるんですけど、抜けがないのかっていうのを確認するにあたっては、
0:03:35	やっぱりまずどれが重なるのかっていうのが、最初に来るんじゃないのかなと。で、それ以外で、北海道電力でこうなんかここをやれば示せるっていうのがあるのであればですね。
0:03:47	別にそれに限った話じゃないのかもしれないけど、我々は今のところ、まずどれが重なるのか、それ第一波のピーク、第2版のピークとしてどれが重なるのか、
0:03:58	それをちゃんと 20%以外も全部含めて、
0:04:03	説明して欲しいと。そうじゃないとなかなか理解できませんよっていうのを、会合でお伝えしているつもりなんですけれども。
0:04:12	それは伝わってますか。
0:04:19	北海道電力の青木です。
0:04:21	藤タニさんの説明補足させていただいた説明踏まえて、前回の審査会合の中で当社が説明した事項っていうところについては、基本的に地震に伴う津波の最大ケースのケース 1 から 20。
0:04:35	ていうところをベースとして説明してきたものでありまして、そういったところで、それ以外の波源についても、まずは、P E E K と P が重なる波源を特定するっていうところ。
0:04:48	ご指摘の事項の趣旨というところで理解しております。またその中で例えば断層パターンであったりアスペリティ位置とか、様々なパラメータあると思うんですけどもそういったところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:01	について分析を加えた上で、まずは重なるものっていうものを特定するってところが大きいコメントの趣旨と理解しております。以上です。
0:05:16	はい谷です。だからその中に、今、
0:05:20	断層下端を説明した後にアスピリティの話をするようなことを言ってますけど、
0:05:25	アスピリティも含めてひょっとしたら最初に重なる重なるパターンアスピリティ位置はここなんですってというのが先にあるのかなっていうようなイメージもあるんですけど。
0:05:36	その辺の整理の仕方ってというのは、
0:05:39	そうするのが無理だったら、パターンを先にこう決めてっていいのかもしれないけど、パターンとアスピリティ位置って私は何かセットじゃないかなという気はしてるんですけどね。
0:05:57	北海道電力の青木です。藤タニさんの指摘の趣旨というところで、
0:06:03	衛藤。
0:06:05	断層パターンとアスピリティ位置がセットというところについてですけども、
0:06:10	こちらは地震に伴う津波最初の検討でそれらを検討していたからセットというふうにとらえているのか。
0:06:19	重なるっていう、P E E Kトピック重なるっていう観点で、断層パターンとアスピリティが窃盗等、おっしゃっておるのかその辺り確認させていただいてよろしいでしょうか。
0:06:32	谷です。
0:06:34	多分、断層パターンと、アスピリティってというのが、パラメータスタディで最初にやるようなことであって、それによって
0:06:46	到達する時間がかかなり市比支配的なんじゃないんですかねっていうのを、今までの資料を、
0:06:54	読んでいる中でそうなんじゃないのかなって思って、私聞いてるんですけど、言ってるんですけど、もしそうじゃないんだったら、
0:07:02	もちろん、
0:07:05	違う説明の仕方あるのかもしれないで、とにかく
0:07:09	波源としてどういった波源が重なるんですか、っていうのを、
0:07:15	重なるってのピークとピークがですね。
0:07:17	そ、それを、20%以外も網羅的にまず説明してくださいと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:25	いうことを言ってるんですけど、いまいちこの辺伝わってないんですね。
0:07:34	横尾オクデラです。
0:07:36	何を問われているかという趣旨はよく伝わっているつもりでございます。アプローチについては、細かいところというのはいろいろあるかとは思いますが趣旨はよくわかっ。
0:07:50	わかっておりますし今の説明でさらによくわかったかなと思っております。以上です。
0:08:07	奥寺です。水位上昇側のふたポチ目ですけれども、
0:08:12	その上で、組み合わせ時間範囲云々ってところでパラメーターを変更した場合というところがあるんですけども、
0:08:23	ここ1、さっき一つ目のところでアスペリティも窃盗、そうじゃないかもしれないアプローチの仕方というところはあったんですけど、ここで、
0:08:33	おっしゃってるパラメーターというのは、
0:08:37	うん。
0:08:38	1土地目のところの話と二つポチ目の仕分け的なところを、どういったイメージ趣旨を持たれてるかっていうのを再確認したいなと思ったんですけども。
0:08:49	ちょっと趣旨伝わりましたでしょうか。まず北海道電力どう思いましたけど、そこは全く
0:08:57	伝わらずに会合終わったとしたら、ちょっと我々、何かまずいなとも思うんですけども、この二つ目のパラメーターっていうのはどういうパラメーターだと、会合で受け取りました。
0:09:10	北海道電力奥寺です。ちょっとまだ煮詰まってないところはあるんですけどまず、
0:09:16	最初の1ポチ目のところは、
0:09:20	炭素パターン。
0:09:22	と、11みたいなところが、は下のですね。
0:09:26	大きなあ。
0:09:27	趣旨かなとは思ってそこで、
0:09:30	ピークがどう重なるかっていうところが特定されるのかなというイメージを持っております。
0:09:35	あとというのは、
0:09:38	いろいろと波源のパラメーターっていうのは種類がいろいろあるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:44	例えば、
0:09:46	上縁深さとかですね、細かい、
0:09:50	あと、
0:09:51	アスペリティをどうとらえるかっていうようなところは、ちょっと
0:09:57	考えが取りまとまってないところなんですけど細かいものを動かしていった時にどういう影響でるのかっていうような、
0:10:05	後段の、細部の検討なのかなというイメージを持っております。
0:10:10	以上です。
0:10:14	はい
0:10:16	それで伝わってると思うんですけども、
0:10:20	何か今回影響因子みたいなのを、結局検討④っていうのが、波源パラメーターの何か影響因子Cを確認してるような、
0:10:32	説明ですよ。こういうこういった断層上縁深さが深くなったらどうなるのかとか、そういう部品をうまく使って、重なるものの中でこういったものが大きくなるんだっていうのを、
0:10:46	これを論理だっけですねこれ全部が全部のパターンをやらなきゃ出ないわけじゃないですよ。今までの分析結果からこういうものこそ大きいんだと。
0:10:58	結果はね、今北海道電力がやってる結果と、ひょっとしたら一緒になるかもしれないです。それを抜けがなく、ちゃんと順序だっけ説明してもらわないと、これは、
0:11:08	理解しにくいですねっていうような指摘です。まずはですね、その中で、いや、いややっぱり、
0:11:16	うん。
0:11:18	パラメーターの中でも、この例えば黒字をね、
0:11:21	くの字モデルとかいうのをね、その際、一つ目のポツの話にするのか二つ目のポツにするのかとか、そういうのはね、説明がよりわかりやすい説明にしてまたもらったらいと思うんですよ。
0:11:33	で、ただ少なくとも、一つ目のポツの中で、例えば
0:11:38	東へ振った場合だとかそういうやつは、一つ目のポツ、もう1の話なので入るかなというふうに思います。
0:11:46	で、二つ目のポツっていうのは、今言われた通りですね。
0:11:52	A s p e r i t y の詳細な位置だとか、
0:11:54	或いはひょっとしたらここで何かもう少し細かく動かしたらとか、そういう話もあるのかもしれないですし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:03	ここは行動説明どうドローンに立って説明して、こういう因子だったら大きくなるんですよっていうのがですね、説明できたら、
0:12:14	理屈としては流れるんじゃないのかな。
0:12:17	とは思いますがね。それは、どう整理するかで、
0:12:23	結果見ないとということもありますけど、
0:12:40	北海道電力オクデラで笹井さん三つ目のポチの、
0:12:44	これ陸上地すべりの一派違反による影響を示すことこれは文字どおり、
0:12:50	拳ウーをどう考えるかという示し方っていうのは、いろいろなやり方があると思うんですけども、この文字通りの通りにとらえておりますので、
0:13:01	1%も2班にはもう、それなりに大きい。
0:13:05	のではないかというようなイメージを持っておられるということですから、一波が我々としてはかなり大きいなと思ってはいるんですけども、
0:13:14	それともう2は、地震の2羽とかその辺が大きいので2は頭には重なるとか、そういったこと、ことも考えられるので見落とす内容と、
0:13:24	というようなところのイメージの趣旨なんでしょうかね。
0:13:31	結構値我々としては小さいいなとは思う。
0:13:35	ではいいながら、検討を進めているんですけどその辺も、
0:13:39	抜けなくチェックしていこうかなとは思っては居るんですけども、
0:13:43	はい、谷です。えっとね。
0:13:46	確かにあの会合のときに何ページかを出してもらってアオキさん説明してくれましたよね。あれはね、確かにあのケースだったらそれで、
0:13:56	いいのかと思うんですけど、私が会合のときにこのページのものとはとかいって、120。
0:14:04	何ページかな。
0:14:11	24ページ以降、
0:14:14	少なくともねこの124ページだけを見ると、北海道電力の説明がこれ多分、
0:14:22	通らないんですね。
0:14:24	だって、
0:14:28	陸上地すべりは、一般の人はもうあんまり変わらないこれあの日評価地点が、健全地形の、どこですか取水口3号取水口の時の話ではあるんですけど、
0:14:43	これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:45	陸上する地すべりの、
0:14:48	一般にはのピークの差って大してないじゃないですか。でも地震に伴う津波って、
0:14:55	2羽が圧倒的に大きいですよ一般、第一波に比べて、
0:15:00	こういうやつは、今、
0:15:04	北海道電力は、陸上地すべりは第一パンの方が圧倒的に大きいから、影響ないんだって言うてる説明からちょっと漏れてしまってると思うんですね。だけれども、それは、
0:15:16	実際やってみるとこれが大きくなるのかどうなのかわからないですね。で、理屈としてちょっと今の126ページだけで説明しても、
0:15:30	十分じゃないかな。
0:15:32	もちろん、第一波がねすごくたっている評価地点評価。
0:15:38	地形ケースだったら、おっしゃる通りでしょう。
0:15:42	ていうことで、今ここ、ここもですね、
0:15:48	何かよさそうな説明をしているんだけど、本当にそれでいいのかっていうのをですね、しっかりと結果からも確認してくださいと。
0:15:57	ということなんですけど。
0:16:06	北海道電力の青木です。衛藤。
0:16:09	先ほど説明されたところ、我々の解釈というところで、126ページの左下のところに、川白のは系図の地形モデルごとの違い。
0:16:20	ていうところを示しております。この結果見てくると、赤線と緑線の0103とかであれば、第一波のピークが大きいというところは説明としては、にかなってるかなというところで、
0:16:34	一方健全地形とか②の地形モデルについては、来パート第2班の佐賀阿曾、それほどないというところがまず1点の問題意識としてあるというところと、加えて、
0:16:46	124ページで言うところの、先ほど言ったところの健全地形とかだと、地震津波の2羽のところが大きくて、
0:16:54	先ほどのかわしらの2羽のスイート地震津波の2羽っていうところを見てくると、ここはちょっともう少し深掘りした説明が必要なんじゃないかと。
0:17:04	いうところの趣旨のコメントというふうに受けとめております。
0:17:08	こちらの水位上昇側の3ポチ目の趣旨については、こういった形で理解しております以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:18	井谷です伝わったと思うんですけど説明の仕方って多分いろいろあると思うんですよ。
0:17:25	全部が全部2は、地すべりの、
0:17:28	地すべりじゃない、地震の第2版が大きいものは、全部が全部確認しろとかそういったことを言ってるわけじゃなくって、
0:17:37	どういうことを踏まえると、もう第一課だけに注目すればいいっていう説明なのかっていうのを、僕らがこう見てて、
0:17:47	ちゃんと漏れがなくそういう説明できているっていうのがわかればいいと思うんですけども、或いは、それができないんだったらやっぱりですね、2羽以降のピークと重ならないのかっていう、検証みたいなこと。
0:17:59	やっていかなきゃいけなくなるのかもしれないので、この辺多分
0:18:03	前々回の会合で言ってることが、まだちょっと、
0:18:08	答え切れていなかったな。
0:18:11	と、前々回じゃない。前回、前回の会合で、
0:18:16	2杯、第1回以外にも着目しなくていいというのは、
0:18:21	その理由はちゃんと説明してくださいということ言ってます。
0:18:26	これいいですかね。税務署側、
0:18:30	規制庁の方からも上昇側で、何か私がこう伝え漏れてるようなこととかありましたら、
0:18:37	特にはないですか。
0:18:43	排除の続けてもらって、
0:18:48	北海道電力奥寺です。水位下降側について、
0:18:53	その辺どう考慮必要がないとする根拠について、
0:18:57	位相変動が推定下時間の算出結果に影響しないという具体例で、
0:19:03	示す等を明確に説明すること。
0:19:06	こういったもので、
0:19:09	会合の中では、少し
0:19:13	資料としてまとめてないところを、私なりアオキなりが口頭補足したりしたようなところもあったんですけども、
0:19:23	そういったようなことも含めた具体例などで我々の考えをもう少し明確にせよというような趣旨で受けとめてますけれども、
0:19:32	そう言った古藤なのでしょうかね。
0:19:35	はい。
0:19:43	タニですけど、これ、とてもざっくり言ってしまうと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:49	加古川の説明の、
0:19:54	何でしたっけ 5.9 と 5. 10 でしたっけ。
0:20:05	これが、
0:20:10	繋がっていないんじゃないのかということ、
0:20:16	やっぱり 0 黒須で説明しているっていうのは、
0:20:22	実際の水の評価のやり方と
0:20:26	説明とか、リンクしているのかしていないのかっていうのが、これがわからないんですよ。
0:20:33	で、なので、具体、具体例とかも説明して、
0:20:39	今のやり方でいいんだ、今のやり方でいいんだっていうのもそうですし、波源を、
0:20:47	波源位置を変えて一層変えなくてもいいんだっていう、
0:20:50	その説明を、
0:20:53	しっかりと
0:20:56	わかる理屈で説明してくださいっていう。
0:20:59	言いたいんですけども。
0:21:02	この
0:21:03	なぜ 0 黒須と、
0:21:07	で説明するのって、
0:21:09	私も、これ私はこれ、話がちょっと繋がっていてないように見えるっていうのが、
0:21:16	審査官のそれぞれこう思っています。ここ、この話はこう流れていないと。
0:21:27	会合で聞いても、やっぱりわかりませんでしたね 0 黒瀬説明することで 0 黒須のこの範囲の中に、第 2 はと第 3%が入っているから、
0:21:37	だからいいんだっていう、いう説明は、
0:21:40	これはですね、ちょっと、
0:21:43	話として飛び過ぎてるかなと。
0:21:57	鈴木さん、コメントあればお願いします。
0:22:03	すいません規制庁スズキですけど。
0:22:05	一応会合の場ではあんまりきつい言い方はしなかったんですが水位低下があって、もともとはかなり時間的にはですね設計上との関係でどう余裕があって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:16	にもかかわらず、かなりその水位が回復する時間をですね、値なんかから解析見積もったりして間のところを回復するっていう、結構複雑なやり方を、
0:22:28	御社やられているわけで、
0:22:30	5.9と5. 中の関係でいうと、その移送を考慮する必要があるかどうかっていうのを一旦度外視するとですよ、青天井で説明していないよって。
0:22:42	ある程度水位が、0メートルぐらいでいっちゃ仮置をして、それよりも低下してる時間の中に、地すべりのほうの加工の場合冬期に挟んば、
0:22:52	入っていますと、その中で140分ぐらいですよ。
0:22:57	時間ずらして検討してるんで、5.9で、
0:23:02	言ってるようなですね、わかったようなことは、5. 10で見ると、だから、
0:23:08	ヒロイ切れてますねって、そういうのはわかるんですけど。
0:23:16	位相ずらす必要がない説明としてあれが使えるかっていうのが、今の説明だと思うんですね。
0:23:23	作って言えばあって、青木さんとか布田さんいろいろご意見あったんで、であればまずは、そういう説明して、
0:23:35	鈴木さん。
0:23:37	ちょっとね声が重なってしまって、
0:23:41	聞き取れないような状態で、
0:23:47	1分前ぐらいから、そんな感じで、ゆっくりと話してもらっていいですか。
0:23:54	多分通信がこっちが悪いのかなと思うんですけども。
0:24:00	今回たほうがいいですか。
0:24:01	はい。もう1回、話の最後の話の、
0:24:06	そうですね30秒、1分前ぐらいからの話なんですけどお願いしていいですか。
0:24:13	はい。
0:24:14	御社はですね。
0:24:17	続いて下の評価で、
0:24:20	結構割と、
0:24:23	防波堤の掲げてですね、いろいろ考慮して、もうここの複雑なサイトなんですよ、複雑なサイトなんだけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:33	一時的に構成が回復するだとか、そういうやり方をされていて、また別に御社の判断って、設計上かなり余裕があるんで、もっと割り切っやり方もあると思いますけど、
0:24:45	一応御社はそういう
0:24:49	時間を、そういうやり方で算出しますと、ていう前提があった上で、
0:24:54	9.9 でわかったことに対して、5 点中である。
0:24:59	ということ。
0:25:01	ちょっと待ってくださいね。主催者側の画像が聞いたんで聞こえてます。また通信が切れてないですかね。
0:25:08	大丈夫ですか。
0:25:09	聞こえてますよ。
0:25:12	聞こえてます数を切っただけですからわかりました。
0:25:17	5、10 でやられていることを、
0:25:20	競争のす。
0:25:21	地震による津波である程度水位が下がる時間を、
0:25:25	一旦です。田んぼ 0 クラスのところでは借り受けをして、その中に地すべりの第 2 は第三課が入っていて、
0:25:35	140 分ぐらいずらす時間範囲でずらして行って、だから、その範囲内で、5.9 でわかったようなことは、
0:25:44	拾いきれていますよと、そういう説明ならば、
0:25:48	わかるんですけど、
0:25:49	あれも見せられていそう動かしても意味がない、必要がないっていう説明には全く聞こえなかったの、
0:25:57	とはいえ、買い物場では、いや幾つか例示を挙げてですね、口頭で説明されてたんで、まずはそれを聞いてみましょうという趣旨です。
0:26:08	なので、
0:26:10	守って移送の変動が考慮する必要が、
0:26:14	ないのかっていうところは、ちょっとまだ話を聞いてみないと判断できませんと。
0:26:19	そういう状況ですね。
0:26:21	ちょっとあれで、社内でもどこまで上まで、非常にその論理が通った説明ですねというふうにとって、会合に出てきたのかわかんないんですけど、
0:26:32	我々は多分誰 1 人としてあれで、確かにそう一層の変動が要らないっていうふうになってますねというのは多分誰も理解できていないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:43	ということなんで、
0:26:47	ちょっとページを挙げて、説明をですね、聞けば、まず、おっしゃりたいことがわかるかということで、会合の場ではそこに留めてますけど、
0:27:05	谷です。
0:27:07	大分聞き取れるようにはなったんですけど北海道電力鈴木さんの言われたのは聞き取れましたか、下がりましたか。
0:27:16	北海道電力奥寺です。何とか聞き取れたんですけども一応我々の認識としては、理事は例示ですし、ちょうど5-9から5の中の繋がりが、
0:27:28	読み取りづらいということでそこら辺を、我々の考えを、
0:27:33	わかるように論理立てて明確にもう少し、
0:27:37	充実した形で、
0:27:39	まずは、わかりづらいものを、
0:27:42	校正せよと。
0:27:44	その上で、議論ができると、というような趣旨だったかに思いますので、その趣旨を念頭に置いて、
0:27:53	我々のを言いたいことに関する論理の改善をしたいと思います以上です。
0:28:03	はい。はい。まずは、よろしく申し上げます。
0:28:09	谷ですけど、ちょっとさっきのスズキの方のコメントを踏まえてちょっと確認なんですけど、やっぱりこの辺の0黒須で説明してこの中に第2版と第三部入ってるから、
0:28:21	動かさなくていいんだ。
0:28:23	ていう、
0:28:25	これは北海道電力の皆さん、これで話は通ってるっていう。
0:28:31	認識なんですかね。皆さんがもうそう思う。これで説明できてるって思って、資料が。
0:28:38	構成とされてる。
0:28:40	ですか。
0:28:41	その通りでございますちょっと説明が、
0:28:46	わかりづらかったのかなとは思うのですが、例示した内容なんか、
0:28:52	含めて、
0:28:56	水位が低くなる可能性の範囲っていうのをきちんと取って置かねばならないというのが我々の趣旨で、
0:29:03	介護の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:06	細かい近い時間のものっていうのまでは、細かいチェックが行き届いてないところなんですけども、大きいものについては、結果っていうのが我々が考えてるものと変わらないであろうというような、
0:29:19	想定も持っておりますのでそういったところも含めて説明していきたいなとは思っております。
0:29:26	以上です。
0:29:27	入ったんです。
0:29:29	結果は変わらないかもしれないから消そそういうそういう結果としてはそうなのかもしれないですけど、これはやっぱりこう話として、理屈が通ってないといけない中で、私はちょっと、
0:29:41	社内で、我々がこれだけん聞いてもわからない中で、皆さんが、
0:29:49	ここの説明に疑問を持たれる方がいなかったっていうのもですね、ちょっと今、にわかにかう疑問は感じているところです。
0:29:58	なので、
0:30:01	ひょっとしたらもっと専門家で、先生、
0:30:04	専門的な考えじゃない、ない人でもわかるような箱もわかりやすいような話にさせていただく。
0:30:12	うん。必要があるのか、少しくう、
0:30:15	伝え、伝え、伝わり方が悪いんだったらしっかりと伝わるような資料を作っただけたらと思いますので、よろしくお願いします。
0:30:25	北海道電力奥寺です。承知しました。
0:30:41	最西郷 002 の確認を、
0:30:47	でよろしいでしょうかオクデラですすいません。
0:30:50	マル 2 ですけれども敷地に対して大きな影響を及ぼさ現選定については、
0:30:55	現在の選定方針では、各地形モデルにおいて影響が大きな波源の選定が適切になされているかが判然としないと。
0:31:05	先行サイトの評価例を参考にした上で、
0:31:09	泊サイトの特徴も踏まえた考え方を整理することということで先行サイトが防波堤の部分を開けて波源を設定すると。
0:31:17	こういったところでございます。これは、
0:31:21	私たちも、先行サイトの評価例は、わかっている今回の案を示してきたところなんですけども、今一度、
0:31:32	おっしゃってる趣旨はわかっているつもりでございますので、
0:31:36	そういったことも含めて考えをまとめていきたいなと思っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:42	まず、1通目のところっていう、ちょ、ちょっと私の質問をしてよろしいですかね。
0:31:50	健全地形モデル。
0:31:52	自体が評価項目に対して、まず、
0:31:56	あたりなかつたりっていうところは、そこは、
0:32:01	我々は我々の考えなりで会合で説明したような論理を持っていたつもりではあるのですがそこがもう違和感があるというような、
0:32:10	趣旨でよろしいですかまずはその一つ目のところ、
0:32:16	私会合で言ったのは、これ今後しっかり説明してもらう必要があるよと変えているのに変え、変えたにもかかわらず説明が、ほとんど、何かその陸理由になるような説明がないっていうのが、
0:32:30	これはまず足りませんよっていうのを、
0:32:33	言いたっていうのが、
0:32:36	あったんですけども、じゃあ具体的にこう、どう、どうすればいいのかっていうの北海道電力の今の考えとかもしっかり聞いてですね、それは、
0:32:46	全部が全部選ぶ必要がないのかとか、
0:32:50	考えはあると思うんです。だから今後説明してくださいっていうつもりで言ってるんですけども。
0:32:59	ただですね、
0:33:05	結局今の段階で、これだけを見とけばいいって言い切れるのかどうなのかっていうのについては、
0:33:13	要するに各ケースの茶加来モデルのチャンピオン評価地点ごとにチャンピオンだけを見ておけばいいっていうのが、
0:33:22	ここ、今後の
0:33:25	耐津波設計のことも考えても、それでいいっていえるのかっていうのはですね、正直、
0:33:33	わからないというようなところです。
0:33:36	そんなのもあっては、島根のケースも言いましたけれども、そういった子選び方もあるんですよと。ただし、島根の北海道電力っていうのは、同じような、
0:33:49	検討結果にはなってない。やってることも違うっていうのも踏まえて、まずはしっかり説明してくださいっていうことなんですけど。
0:34:04	横尾オクデラです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:07	この趣旨に理解した、していたつもりでもありますし理解いたしました。
0:34:13	今のお話も聞いた上でですね。
0:34:20	以上です。
0:34:25	はい。只野なんかのやりとりの中で地形、検討は必要なんですけど、
0:34:31	やりとりの中でその該当良い項目なんだとかいう話とかもなかったと思うんですけど、検討はまずされたっていうのは、
0:34:39	ガイドに書いてあるようなことも検討されているっていうのわかるんですね。あとは選び方として、
0:34:47	どう、どう選ぶのか、
0:34:50	敷地に影響が大きなものがもう漏れなくえら、選べてますよっていう理屈がつかれるのかっていうのをですね、考えていただけたらと。
0:34:59	思っています。
0:35:08	わかりました。
0:35:12	あとは、会合中2、
0:35:17	等、
0:35:18	主要な指摘事項としては会合の審議結果っていうことで出てるんですけど、会合の途中で、
0:35:26	補足説明資料の最後の方の
0:35:30	低下時間の設計側の選び方だとか、
0:35:34	その辺の話がでて、
0:35:45	今後説明もしてくださいっていうような言葉もあったと思うんですけども、その辺の認識ってどう、どう、どうされることを考えているのかを、
0:35:56	あどどう受け取ったっていうのを確認さしてください。
0:36:02	カイダ電力オクデラです。昨日、五条の審査会合がありましたけれども、
0:36:09	まとめのところで、
0:36:12	まず入力入力津波といいますかポンプの取水性の評価でどういった評価が、
0:36:19	保守性があるやり方だと考えているのかというところを、
0:36:27	どうしてそうなんだっていう理由を明確にした上で、指名することと、
0:36:33	できるだけ速やかに示すこととそういったような趣旨のコメントがあったかと思いますので、
0:36:39	今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:43	その理由のところっていうのを明確にするような、した上で、
0:36:50	どういった方針で評価していくのかっていうのを
0:36:54	再整理しようかと考えているところです。その上で、3月24日の会合で、
0:37:02	入力津波側の、
0:37:04	評価のための外力である基準津波と、それは、
0:37:09	整合的傾向が整合的であるべきというようなお言葉もございましたので、そういった趣旨にのっとって基準津波としてどういうやり方、
0:37:20	どういうものを選定するのかという考え方を示していきたいなど。
0:37:24	そういうふうに考えております。まずは、
0:37:27	何を最終的に、
0:37:29	工場側で評価するのかっていうのを明らかにしよう。その上で、
0:37:34	今、我々基準津波ではこう考えているっていうところは、38日に説明したんでそれを、
0:37:40	それがそのままでもいいのか、或いは変更すべきところがあるのかっていうところに、さかのぼった上で基準津波決めていきたいなと考えてございます以上です。
0:37:53	はい。
0:37:55	名倉さん、手を挙げられてますお願いします。
0:38:03	名倉です。
0:38:06	衛藤。
0:38:09	私施設側ともうちょっと話をして、
0:38:12	私が施設の評価をやってる頃に、
0:38:19	記憶とかも一応確認したんですが、
0:38:24	水位の主貯留堰を設置した場合でも、その内側の海水ポンプがある。
0:38:33	水路の領域に関して、
0:38:36	感度解析を実施。
0:38:39	するっていうのはあくまでも、
0:38:44	水位の回復時間とか、
0:38:47	そういったところの保守性を、
0:38:49	ある程度確認するための、
0:38:52	補足的な検討として詳細な感度解析をやっているという事例が、
0:38:58	藤新居ですかねとかあって、すいませんそれ私がやらしてるんやらせたきっかけを作ってるんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:07	ただし、やっぱり鳥井駅を設定する時は、時間評価で施設側も評価をしていて、
0:39:15	詳細な感度解析をもとにすを見て、それで詳細評価をしているっていうのは、貯留堰を設定してるものについては基本的にはそこはやっていない。
0:39:29	というふうな、やっぱり認識です施設側もそういった認識のようですので、そういう意味で施設側でどういうふうな、
0:39:39	入力津波の評価項目を設定してるかとの関連で、
0:39:46	基準津波がわあわあでどういうふうな考え方で、
0:39:51	評価値を使って、
0:39:55	基準津波の波源を選定するかというのは、
0:39:58	少し、何ていうかな。
0:40:02	考え方をちゃんと整合してるかどうかということはちゃんと説明していただきたいなと思いました。私からは以上です。
0:40:16	オクデラでございます。わかりました収支、昨日の審査会合工場の審査会合も含めて、理解しているつもりでございますので
0:40:27	辺り踏まえて、検討を早急に進めていきたいと考えてございます以上です。
0:40:38	はい、谷です。今のね、ちょっと、
0:40:42	話を聞いてて気になったんですけども、
0:40:46	いやこれって、
0:40:47	まだプラント側にもしっかりとこれでいって、
0:40:52	確定しているような話でもない、ないようなことも書いてるんですけど。
0:41:00	プラント側にこれまで説明してきたところというのは、基準津波、
0:41:06	の波源を使って、時間評価要領に対する、
0:41:10	裕度の確認ということで、
0:41:13	こういうやり方で時間を算定いたしますということを説明しております。
0:41:20	タニですけど、やっぱり何かそれを踏まえて、基準津波の取り方も、何か今、
0:41:28	考えますみたいなことを言われたような気がしたんですけど、推定価格の時間のとり方も考えますなのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:36	やっぱりプラント側でしっかりこれでいって問題ないのかとかいう話ができるじゃないと、なかなか我々こうするつもりなんですけどこういう方針なんですけどっていうので、
0:41:51	確定していけるのかっていうのがちょっと疑問で、その辺はやっぱりプラント側ともしっかりと話をしてもらわないとなと。
0:41:59	思います。
0:42:03	プラント側ときちんと評価に関する確認、速やかにやった上でフィードバックすべきことが基準津波にあるのであればあるので、
0:42:16	その辺の検討を進めていきたいと思いますが我々、
0:42:19	まず、基準津波で波源を使ってこういう評価をするんだっていう流れのところを、先行サイト等から、その流れを理解しているつもりでいたのですけれども、その辺りの理解がまだ、
0:42:32	浅かったのかと思いますのでそこは指摘等を踏まえて、
0:42:36	逆からのやり方等も、
0:42:40	あるんになってしまうかもしれないですけども、整合をとっていききたいなと思っております以上です。
0:42:47	はいわかりましたタニです。はい、わかりました。
0:42:52	他、
0:42:54	確認したいこととかはありませんか。
0:42:59	北海道電力奥寺です。審議結果に関する確認等は、以上でございます。
0:43:08	土岐さん、規制庁側のリモートで参加されてる方、特にありませんか。
0:43:14	はいちょっとお願いします。
0:43:21	規制庁の名倉です。
0:43:24	今日ラップアップ
0:43:27	少しなんていうのかな。
0:43:29	事業者の方で感じている疑問点とか、
0:43:33	自分たちはこういうふうの評価してこういう考えでこういう評価をしてきたんだけど、
0:43:38	これもどこがいけないんでしょうかみたいなニュアンスっていうのは、
0:43:42	少し伝わってきていました。
0:43:46	私自身ちょっと今日ラップアップで思ったのは、
0:43:50	味を変えてでも会合で、
0:43:53	認識不足であると言われようが、
0:43:57	介護で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:59	自分たちの主張をするなり、疑問点をぶつけた方がいいんじゃないかなと。
0:44:05	いうふうになんか思いました。
0:44:07	そういう取り組み、取り組みをしていく中で、
0:44:11	おそらく、
0:44:13	そういった質問指摘をする一人一人の緊張感というかそういったものが利益されるし、
0:44:21	そういうところで議論してる内容そのものが、
0:44:25	おそらく直接、
0:44:28	審議の質を高めていくことに繋がるんじゃないかなというふうになんか思いましたので、
0:44:34	そういう意味で、
0:44:37	審議結果に対して、やはり疑問とかあるのであれば、基本的なものについては、
0:44:45	当日、
0:44:47	やっていただいた方がいいかなという気はちょっとしました。そこら辺ちょっと今後取り組みとして、意識を少し変えていくようにしていただきたいなと思いました。私からは以上です。
0:45:02	北海道電力の松村です。
0:45:06	今の名倉調整官のお話、
0:45:10	ですけれども、
0:45:12	そういうふうになんかし、会合の中でやっていく。
0:45:17	べきかというふうになんか思います。
0:45:21	今日もいろいろお話をさせていただいたのはある程度ちょっと持ち帰って社内で少し整理したりした辺りを踏まえてちょっと今日の議論になっています。
0:45:32	会合のときに、ちょっとどこまでその辺の、
0:45:37	議論ができるかっていうのはありますけれどもそういう趣旨でですね、我々としても取り組んでいきたいと思ってございます。以上です。
0:45:54	対策室お願いします。
0:45:57	はい。規制庁佐口です。
0:46:02	審議結果のところは特に出していないんですが、私は熊田その会合の中でをした。
0:46:11	スケジュール感について、
0:46:13	もし

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:15	今日のアップアップを通じて、またさらに、社内での検討はあるかもしれないんですけども、
0:46:23	もし次回の
0:46:25	会合は、例えば6月を目指すとしてもですね、多分資料提出って、
0:46:33	再来週の週という予定だったんですけど、
0:46:38	そこも含めてですねもし円時点で、わかる範囲で構いませんので、
0:46:45	そのスケジュール感について実をC E
0:46:48	教えていただけますでしょうか。
0:47:10	オクデラでございます。
0:47:14	正直なところ言います。2週間後という話であるとそれは、資料提出として相当厳しい状況にあるかなとまだここでは今日の
0:47:25	やりとりを踏まえた上で、さらに社内的にどうするかっていうのを決めていかないといけないんですけどそれは急ぎですけども、そういうようなところがございます。
0:47:38	ちょっとその辺をボリュームとかの算定がですね、今までできていないようなところでございますので、工程等定まって参りましたら、速やかにご説明したいと考えてございます以上です。
0:47:53	はい。規制庁サグチですわかりました。なので多分、スケジュール面談とか、これからも確認していくと思えますし、
0:48:03	そういった機会じゃなくてももし早めにわかるようでしたら、スケジュールについてはまた後日ですね、教えていただければと思いますのでよろしく願いいたします。
0:48:15	あ、北海道電力の松村です。
0:48:18	先ほどオクデラ話した通りなんですけども、現段階では、我々としては6月、
0:48:25	ちょっと時期、上旬中旬下旬こころ辺はわかりませんが6月の会合を目指したいというところは、変わってございません。一方
0:48:35	これから資料作成等々があるのでちょっと2週間とか難しいというのも事実でございます。
0:48:41	またこの先のヒアリングとかをですね、やっていただきながら、
0:48:47	またちょっと工程等はリバイスしていく必要があるかもしれませんがもしもその辺は早めにご相談させていただきたいと思えますよろしく願いいたします以上です。
0:49:02	はい、規制庁サグチですわかりました。で、ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:07	もう一度一応確認なんですけど、万が一ですね、その6月、例えば1週2週とかその程度であればいいのかもしれないんですけども、これ場合でも少しお伺いしたんですけども、
0:49:20	例えばその地震津波で、1ヶ月とか例えば遅れた場合ですね、これがランプ側で、その回収できるのかどうか、っていうそういう何か見通しとか、取り組みとあって、
0:49:35	しゃべってるっていう理解でよろしいんですかね。
0:49:41	北海道電力齋藤です。介護プランとかも後も含めてお話させていただいてるところではあるんですけども。確かに津波建てのスケジュールが遅れたらその分素直に行けば、後ろに行くっていうそういう固定費になっておりますけれども、
0:49:58	その後の入力津波ですとか、そういうそちらの方の対応ですね期間を短くしていくということでトータルの工程には影響しないようにしていくと。
0:50:08	ということで進めております以上です。
0:50:13	はい、規制庁佐口ですわかりましたありがとうございました。
0:50:23	井谷です。
0:50:24	では特になければ、これで面談を終わりたいと思います。ですね。
0:50:30	はい。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。